

神大実小学校 コンプライアンス研修年間計画

坂東市立神大実小学校

コンプライアンス研修年間計画

子どもたちのために働く教育関係職員として、全職員が一丸となり強い自覚の下で次の取組により、教職員の服務規律の徹底を図る。

1 目標

○ 教職員一人一人が教育公務員としての使命と責任を自覚するとともに、倫理観や規範意識の向上を図り、地域に信頼される学校づくりを推進する。

2 信頼される教職員であるための5つの行動指針

- 教育公務員としての自覚をもち、法令の遵守と服務規律の徹底に努める。
- 自分の言動に責任をもち、絶えず資質・能力の向上に努める。
- 子どもの人権を尊重し、共に学び、共に成長し、子どもたちの手本となる行動に努める。
- 教職員同士が相談し合い、共に助け合える風通しの良い職場環境をつくる。
- 勤務時間外であっても、自らの言動が教育全体の信頼に影響を与えることを常に意識して行動する。

3 コンプライアンス確保のための具体的取組

(1) 飲酒運転の撲滅

- 公私を問わず飲酒する可能性がある宴席には、自車を使用しない。
- 飲酒運転撲滅の研修や啓発活動を定期的実施し、意識化を図る。
- 教職員一人一人が声を掛け合い、未然防止を徹底した学校にする。

(2) 盗撮・わいせつ・ハラスメントの排除

- 特別教室、教科準備室、更衣室、トイレ等を常に整理整頓し、日常的・定期的に点検を実施する。
- 授業や学校行事等において、個人所有のスマートフォンやタブレットを使用したり、撮影したりしない。
- 児童との私的な電話、メール、SNS 等によるやり取りをしない。
- セクハラやパワハラ等のハラスメントを疑われるようなことはしない。

(3) 体罰・不適切な指導の禁止

- 教職員一人一人の人権意識を高め、児童に対する体罰や不適切な言動をなくす。
- 児童及び保護者との信頼関係を築くとともに、相談窓口の周知を図る。

(4) 個人情報盗難・漏洩・紛失の防止

- 個人情報は校外に持ち出さない。持ち出しの必要がある場合は、記録簿に記入し、管理職の許可を得る。
- 机上の整理整頓に努め、個人情報を不在時の机上など、目につく場所に放置しない。

4 学校コンプライアンス推進委員会

校長・教頭・教務主任・各学年主任・学校運営協議会委員（外部）

【主な活動内容】

- ・地域とともにコンプライアンスを推進するための研修等の企画運営
- ・新聞記事を活用したミニ研修（随時）【自分事として考える】
- ・互いに相談し、アドバイスし合える明るい職場環境と雰囲気づくり

5 コンプライアンス研修年間計画

月	研修内容	主な視点・取組
4月	職員の服務規程・個人情報取扱規程	教育公務員としての自覚、情報管理の徹底
4月	組織編成・年間活動計画	校内連携、役割確認、報告・連絡・相談
5月	飲酒運転防止	「自分は大丈夫」をなくす、声掛けによる未然防止
6月	体罰・不適切な指導防止	人権意識の向上、アンガーマネジメント
7月	わいせつ行為防止	SNS・スマートフォン利用、児童との距離感
8月	コンプライアンス推進委員会	学校課題の共有、研修内容の改善
9月	個人情報漏洩・紛失・盗難防止	データ管理、机上整理、持ち出しルール
10月	交通違反防止	安全運転意識、服務規律の再確認
11月	暴言・不適切な言動防止	子どもの人権尊重、保護者対応
12月	公金等の不正処理防止	会計処理、チェック体制の徹底
1月	ハラスメント防止	風通しの良い職場づくり、相談体制
2月	メンタルヘルス	心身の健康保持、相談・支援体制
3月	1年間の振り返り	成果と課題の共有、次年度への改善

6 研修を充実させるための工夫

- 身近で実際に起こり得る事例をもとに、「自分だったらどうするか」を考える研修を行う。
 - 一方的な講話ではなく、個人思考やペア・グループ協議を取り入れ、対話的に学ぶ。
 - ヒヤリ・ハット事例を共有し、「責める」のではなく「未然防止」につなげる。
 - 研修後には「明日から1つ取り組むこと」を決め、行動につなげる。
 - 教職員同士が相談しやすく、安心して意見を言える職場づくりを大切にする。
- ※ 研修担当者は、研修実施1週間前を目途に、教頭へ資料を提出・相談すること。

7 神大実小コンプライアンス推進委員（外部人材）

- 学校運営協議会委員
- 地域学校協働活動推進員
- 必要に応じた関係機関等